

海星 4月

薩摩川内市立海星中学校
平成28年4月28日発行

平成28年度の幕開けにあたり

校長 有島 愛郎

鳥のさえずりが響き渡り、道路沿いにはさまざまな種類の花が咲き、春の深まりを感じるところです。

さて、3月に6名の生徒が卒業し、寂しい思いをして

いましたが、4月6日に5名の生徒が入学し、本年度は19名の船出となりました。生徒数は若干ながら減少しましたが、生徒一人一人のやる気・元気は昨年度に劣ることなく、学校は活気に溢れています。1年生は「2・3年生の先輩たちが思いやりをもって接してくれるので、楽しく学校生活をおくることができる」と話しています。嬉しいことです。

ところで、熊本・大分での地震により、多くの方が被災され、尊い命も奪われました。本校に於いては、安全確保のため管理職による日々の校内点検と職員全員による月1回の点検を行っています。不備が見られた箇所については教育委員会へ報告し、修理等をお願いしています。現在のところ、緊急を要する修理・補修はございません。また、5月は、地震発生を想定した避難訓練を予定しています。常に、生徒が安心安全に生活できる環境づくりに努めて参ります。

話は変わりますが、4月6日に保護者の皆様に、1学期の学校経営方針を配布いたしました。昨年度と変わらず、第一は学力向上を上げました。このことは保護者の皆様にとりまして強い願いではないかと考えます。生徒の人生を切り拓く上で、学力を身につけることは必須と考えます。職員もこの考えを十分に理解し、分かるだけでなく、できる指導をし、生徒に自信をもたせるよう努力しています。また、生徒や保護者の悩みに答えることも学校の使命です。私たち職員は、生徒に普段と違う様子が見られたらすぐに相談することを心がけています。また、保護者の皆様も学校についての不明な点やお子様について話しておきたいことなどありましたら、私をはじめ職員に気軽に相談していただければと思います。

最後になりますが、本校職員一同、預かりましたお子様につきましては責任をもって育てて参ります。保護者の皆様の本校へのご理解とご協力、並びにご支援をお願いいたします。



1学期始業式

4月6日（水）に始業式を行い、平成28年度がスタートしました。

2年生代表の牟田君は「これまでの反省を生かし、新年度の目標は1日120分勉強することです。それが、新入生として入学する妹の見本になると思います。」と述べ、3年生代表の東君は「残り少ない日々の練習を充実させ、県総体出場を果たしたいです。そして、志望校の合格を目指し、宿題以外の家庭学習を充実させたいです。」と新年度の決意を述べました。それぞれが進級し、頼もしい発表に今年度への強い意気込みを感じました。



第39回入学式

4月6日（水）に保護者・来賓の方をはじめ多くの方に歓迎される中、入学式を挙行了しました。

生徒会長の甲斐君が新入生に対して「わからないことや不安がことがあったらいつでも相談してください。そして、海星中では登下校中、車を運転される方へも立ち止まってお辞儀をしています。これが海星中の伝統となりました。この伝統を守り抜いていけるよう、あいさつをしてください。全員が一丸となって、新たな伝統を築き上げていきましょう」と力強く歓迎のことばを述べました。また、新入生を代表し、戸田さんが「海星中の伝統である地域の方へのあいさつだけでなく、車を運転されている方へも礼をして、先輩方が築いてきたあいさつの伝統をしっかり受け継ぎたいです。そして、両親やお世話になった小学校の先生方への感謝の気持ちを忘れずに精一杯頑張ります」と堂々と誓いのことばを述べました。式を通して、1年生の姿からは、中学生として新たなスタート切らんだという強い自覚が感じられ、在校生からは先輩として後輩をリードしていくんだという責任感と思いやりを感じました。



生徒会対面式

新入生が生徒会へ入会する対面式を4月7日に行いました。1年生の自己紹介後、本部・学芸部・生活部の活動内容を副会長と部長が詳細に説明

しました。1年生は伝統のあいさつや空缶回収など真剣な表情で聞いていました。その後、生徒会役員が入会を祝い、本校に関するクイズを出題していました。今後、先輩と共に良い海星中づくりに努めることでしょうか。



いじめ問題を考える週間

4月11日（月）～15日（金）にいじめを考える週間を設け、全学年において、道徳の授業を行いました。

2年生の授業では「自分を好きになると、こんな自分になっていくのだ!」をねらいに自分の良さや友達の良さを見つけました。生徒からは「自分を好きになると、たくさん良いことが起きることを知って、自分を好きになろうと思う。これからも、もっと自分や友達の良いところを見つけていきたいです。」と感想を書いて言いました。

学校ではいじめは絶対にゆるされない行為であることを伝えながら、継続した道徳教育の充実を図っていきます。

本市の小中学校ではいじめ問題の解消のため、毎月1日を「いじめのない学校づくりの日」として、いじめアンケート調査も実施しているところです。



個別学習相談

今年度初めての取組として、全校生徒を対象に、家庭訪問期間中の3日間にわたって、個別学習相談及び個別指導の時間を設定しました。事前に学習面についての悩みや個別に相談したいことをアンケート調査をしました。生徒の中には「教科担任の先生と話ができ、自分の勉強方法を見直すきっかけになった」と話す生徒もいました。今後の学習方法の助けになったことでしょうか。

小中一貫教育の取組

4月18日（月）に鹿島小・長浜小の職員が本校に集まり、小中一貫教育の合同研修会を行いました。海星中校区では「島立ちに向け、ふるさとに根ざした知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成」を主題として、学力向上に向けて、それぞれの教科において、授業の終わりに児童・生徒の言葉で1時間を振り返らせること等を申し合わせました。



平成28年度転入職員紹介

	職名	氏名	前任校
4	教諭	瀧山 利生	さつま町立薩摩中学校より
5	教諭	池端 恵	霧島市立牧園中学校より
9	教諭	中脇 強	鹿児島市立明和中学校より
11	栄養教諭	田川 華奈	鹿児島市立鴨池小学校より
12	専門員	大石 健司	さつま町立鶴田小学校より

○ 今年度も教育活動の充実に向け、精一杯取り組んで参ります。どうぞ、よろしく願いいたします。